

● マキロンかゆみどめパッチP

● マキロンパッチエース

【使用上の注意】

 使用上の注意 してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

- 次の部位には使用しないで下さい。
 - 水痘(水ぼうそう)、みずむし・たむし等又は化膿している患部
▶マキロンパッチエース
 - 目の周囲、粘膜等
▶マキロンパッチエース
 - 傷口、湿潤(かきこわし)ただれ、しっしん^{*}、かぶれ
※マキロンパッチエース
- 顔面には、広範囲に使用しないで下さい。
▶マキロンパッチエース
- 長期連用しないで下さい。
▶マキロンパッチエース



相談すること

- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
 - 医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
▶マキロンパッチエース
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 患部が広範囲な人
▶マキロンパッチエース

- 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、かぶれ ^{*1} 、乾燥感 ^{*1} 、刺激感 ^{*1} 、熱感 ^{*1} 、ヒリヒリ感 ^{*1}
皮膚(患部)	みずむし・たむし等の白癬 ^{*2} 、にきび ^{*2} 、化膿症状 ^{*2} 、持続的な刺激感 ^{*2} 、かぶれ ^{*2} 、色素沈着

※1：マキロンかゆみどめパッチP

※2：マキロンパッチエース

【解 説】

- 副腎皮質ホルモン(ステロイド)には局所の抗炎症作用がありますが、一方では免疫反応を抑制するため、細菌類、真菌類、ウイルス等による皮膚の感染症を悪化させるおそれがあります。
 - 目の周囲や粘膜等は感受性が強く、本剤を使用することにより強い刺激感があらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
 - このような患部に本剤を使用すると、刺激感が強くあらわれたり、症状が悪化するおそれがあります。
- 副腎皮質ホルモン製剤を顔面に広範囲に使用した場合、酒さ様皮膚炎が発現するおそれがあります。
- 共通事項解説〔3〕参照
本剤は副腎皮質ホルモンを含有しています。
- 共通事項解説〔4〕参照
 - 共通事項解説〔5〕参照
 - 共通事項解説〔7〕参照
- 患部が広範囲な場合は、できるだけ早く医師の治療を受けることが望ましい場合が多いので、自己判断で薬を塗布しないよう注意喚起しています。また、貼付枚数が多くなることにより、副腎皮質ホルモンの経皮吸収による副作用がおこるおそれがあります。
- 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに使用を中止し、使用している薬剤の成分等がわかる外箱を持参の上、専門家に相談する必要があります。

● マキロンかゆみどめパッチP

● マキロンパッチエース

【使用上の注意】

3. 5～6日間使用しても症状がよくなる場合は使用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【成分・分量に関連する注意】

貼付後ほてり(熱感)を感じるがありますが、ごく短時間のうちに消失します。

▶ マキロンかゆみどめパッチP

【使用法に関連する注意】

1. 使用法を厳守して下さい。
2. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させて下さい。
3. 外用にのみ使用して下さい。
4. 汗をかいたり、皮膚がぬれているときは、よくふき取ってから使用して下さい。
5. 数時間使用してかゆみがなくなれば、本剤をはがして下さい。
▶ マキロンパッチエース
6. 同じ場所に長時間使用しないで下さい。

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. 品質保持のため、未使用分はアルミ袋に入れ、アルミ袋の切り口をきちんと折り曲げて保管して下さい。
5. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

【解 説】

3. 5～6日間使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や合併症も考えられるので、使用を中止し、専門家に相談する必要があります。

クロタミトンにより、一時的に感じる場合があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照
2. 共通事項解説〔9〕参照
3. 定められた投与経路、適用部位以外への使用は、思わぬ副作用や事故が発生するおそれがあります。
4. 感染防止のため、患部は常に清潔に保つことが必要です。また、貼付部位が汚れていたりぬれていたりすると、本剤の接着力が弱まり、十分保持できずに効果が期待できないことがあります。
5. 本剤は副腎皮質ホルモンを配合していますので、漫然と使用すると思わぬ副作用があらわれるおそれがあるため、症状が治ったら直ちに本剤をはがして下さい。
6. 本剤は、貼付部位の汗等の水分を外に蒸散させるように設計されておりますが、長時間貼付したまま放置すると、接着力が弱まりったり、あるいは感染の原因となって、副作用があらわれるおそれがあります。

1. 共通事項解説〔11〕参照
2. 共通事項解説〔12〕参照
3. 共通事項解説〔13〕参照
4. 開封後の保管中、本剤が乾燥するのをできるだけ防ぐための注意です。
5. 共通事項解説〔17〕参照